

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	BRANCH松井山手	階数	地上2F
建設地	京都府京田辺市山手中央3-1、3-2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	S地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2018年3月2日
敷地面積	13,235 m <sup>2</sup>	作成者	久保岳
建築面積	4,113 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	7,766 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 4  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 快適で効率的な建築運用を実現するために、屋外共用部主体のアウトレットモールとしている。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 利用客のアメニティの向上に配慮し、高い天井高と大開口を設けている。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を1階は5m、2階を4.2m確保しゆとりある計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 壁面緑化等、街区に広がる緑地帯を設け、緑豊かな屋外空間とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率型照明器具(LED照明の採用)、WC照明の人体センサー点滅の採用等、設備の省エネルギー化を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地北側が静かな住宅地であることから、建物位置をできる限り北側から遠ざけ、目隠しフェンス等で設備機器を隠し、住宅地になじみやすい建物ボリュームとした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される